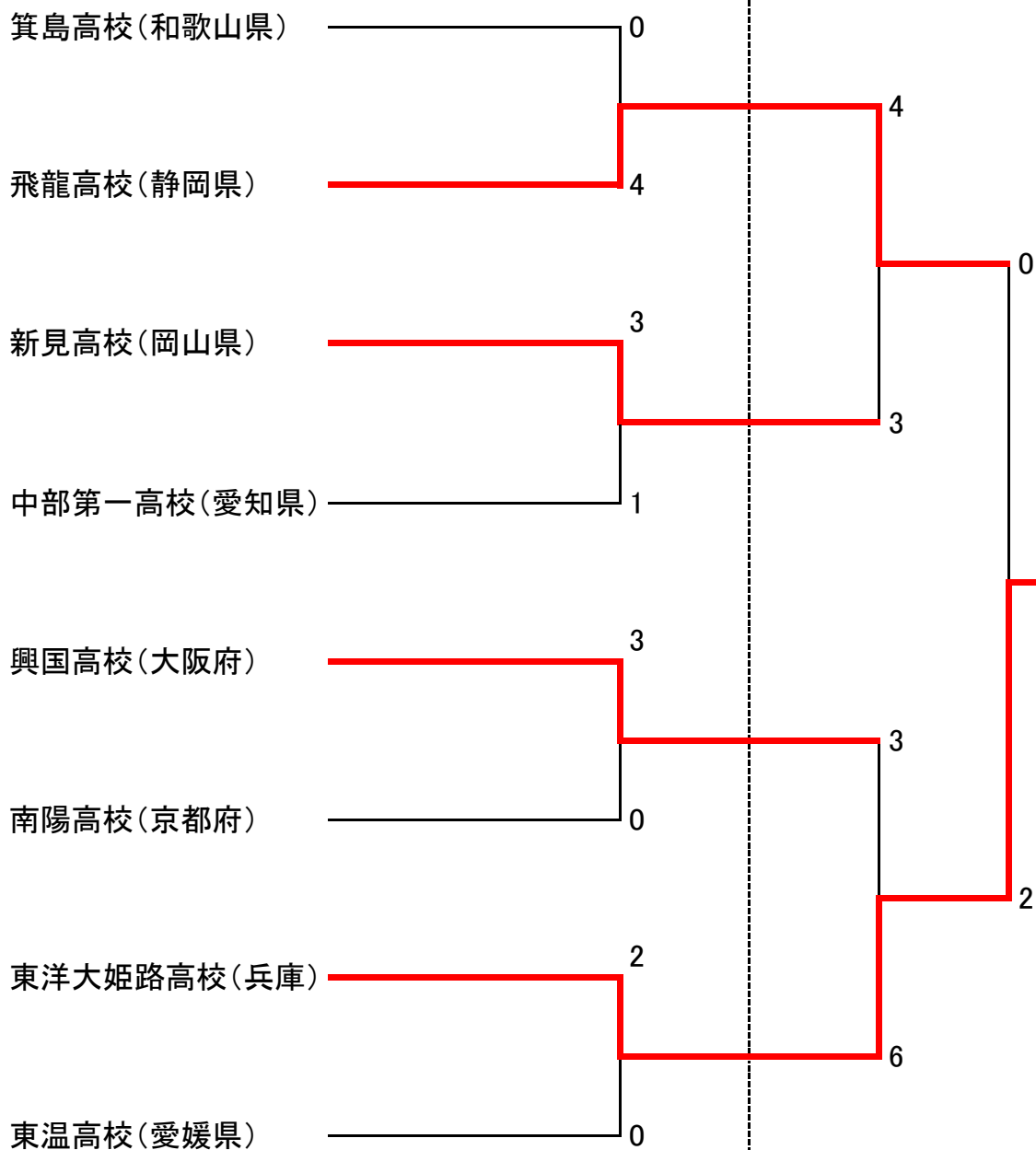


第14回 加古川市長旗争奪・加古川ソフトボール協会長旗争奪高校男子ソフトボール大会

5月2・3・4日
加古川河川敷両荘グランド

優勝 東洋大学姫路高等学校
準優勝 飛龍高等学校
三位 興国高等学校
三位 新見高等学校



優勝 東洋大姫路高等学校

参加チーム

飛龍高校 (静岡)・豊川高校 (愛知)・中部大学第一高校 (愛知)・日本文理高校 (新潟)・美濃加茂高校 (岐阜)・聖徳高校 (岐阜)・野々市明倫高校 (石川)・栗東高校 (滋賀)・南陽高校 (京都)・綾部高校 (京都)・興国高校 (大阪)・箕島高校新見高校 (岡山)・高梁高校 (岡山)・呉市立呉高校 (広島)・三刀屋高校 (島根)・中央育英高校 (鳥取)・徳島科学技術高校 (徳島)・多度津高校 (香川)・東温高校 (愛媛)・明石高 (兵庫)・龍野高校 (兵庫)・山崎高校 (兵庫)・東洋大学姫路高校 (兵庫)・滝川高校 (兵庫) 天候にも恵まれ三日間で練習試合を含めて90試合消化することが出来ました。

第14回 加古川市長旗・理事長旗争奪高校男子選抜大会

準々決勝① 試合時間 1時間18分 試合日22年5月3日 試合番号
 審判員(球審) 後藤英夫 (1塁) 松山信司 (2塁) (3塁) 石坂文昭
 (副審) (記録) 中條勝彦 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
中部大第一高等学校	0	0	0	1	0	0	0								1
新見高等学校	0	0	2	0	1	0	×								3

バッテリー【先攻】浅野公大－柴田雅也 【後攻】荒木翔平－田口正志
 長打 【先攻】(二)吉川隼平 【後攻】(本)長尾涼司・高橋 悠

準々決勝② 試合時間 1時間25分 試合日22年5月3日 試合番号
 審判員(球審) 小山田健二 (1塁) 山脇隆義 (2塁) (3塁) 三木秀信
 (副審) (記録) 田丸周三 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
箕島高等学校	0	0	0	0	0	0	0								0
飛龍高等学校	0	0	1	0	0	3	×								4

バッテリー【先攻】山本誠弥－溝上郁英 【後攻】野口良介－西里博樹
 長打 【先攻】 【後攻】(三)稲岡桃香(二)水原 怜

準々決勝③ 試合時間 1時間29分 試合日22年5月3日 試合番号
 審判員(球審) 坂尻末吉 (1塁) 金井三良 (2塁) (3塁) 辻井静夫
 (副審) (記録) 米田 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
興国高等学校	0	2	0	0	1	0	0								3
南陽高等学校	0	0	0	0	0	0	0								0

バッテリー【先攻】合田圭祐－多田吾一 【後攻】矢原 和－杉野健太
 長打 【先攻】 【後攻】

準々決勝④ 試合時間 1時間13分 試合日22年5月3日 試合番号
 審判員(球審) 岡田 勉 (1塁) 玉井秀樹 (2塁) (3塁) 塚越正則
 (副審) (記録) 路次 隆 (放送)

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	合計
東温高等学校	0	0	0	0	0	0	0								0
東洋大学姫路高等学校	1	0	0	0	0	1	0								2

バッテリー【先攻】橋本亮平－久保光野 【後攻】近藤和樹－木幡瑛司
 長打 【先攻】 【後攻】

第14回 加古川市長旗・理事長旗杯高校男子選抜大会

試合日	2010年5月4日	第三日目	決勝	球場名	加古川河川敷グラウンドDコート	第2試合
試合開始時間	10時51分	試合終了時間	12時31分	試合時間	1時間41分	中断時間
審判員	(球審)山卯泰久	(一塁)塚越正則	(二塁)福田輝昭	(三塁)藤本勝芳	(副審)田中 悟	
記録員	坂尻末吉	補助記録員		放送委員		会場名 河川敷Dグラウンド

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	計	勝利・敗戦投手	
飛龍高等学校	0	0	0	0	0	0	0				0	勝	近藤和樹
東洋大姫路高校	1	0	0	1	0	0	0				2	負	野口良介

チーム名	投手	捕手	打者	安打	犠打	四球	死球	三振	盗塁	失策
飛龍高等学校	野口良介	西里博樹	24	4	0	0	0	5	0	1
東洋大姫路高校	近藤和樹	小幡瑛司	28	7	0	3	0	0	0	0

チーム名	長打(本塁打・三塁打・二塁打)
飛龍高等学校	
東洋大姫路高校	(本塁打)岩田貴晶(二塁打)岩田貴晶・藤田和成

(戦評) 東洋大学姫路高校地元で初優勝

東洋は初回3番岩田の右中間のあたりを外野手もたつく間にランニングホームランで先制し、4回にも内野安打を足がかりに藤田の2塁打でダメを押し飛龍を散発の4安打に抑え地元大会の初めて優勝を飾った。